

## 庁議の概要

開催日 平成26年11月25日（火）

### ◎項目

- 1 平成27年2月広報計画案について【総務部】
- 2 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

### ◎内容

- 1 平成27年2月広報計画案について【総務部】

総務部より、資料に基づき平成27年2月広報計画案について説明が行われた。

- 2 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部局による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

#### ○ものづくり総合技術展 NEXT について

（産業振興センター）

11月20日（木）から22日（土）に開催したものづくり総合技術展 NEXT は大変盛況に終わることができたと考えている。今回は第3回となり、これまでで一番多い1万5,552名と昨年より1,000人余り多い方々に来場いただいた。天候にも恵まれたが、出展者数が過去最大の122社であったことや、県外からの商談に訪れる方も増えたことが、来場者の増加につながったのではないかと考えている。

県外からの商談については、製品の商談会や下請け斡旋の商談会に加えて、今年からは出展している企業の皆様に取引先を呼んでいただき、商談をしていただく取り組みを行った。また、県主催による紙関係の商談会など、全部で45社の方々が商談に来ていただいた。昨年23社だったので、ほぼ倍増した。来年は中でも出展企業の皆様に多くの取引先を呼んでいただけるような取り組みを早い時期からやろうと考えている。

#### ○国の動きと平成27年度当初予算について

（知事）

まず、国の動きについて、衆議院選挙があり与党プロセスなどいわゆる政治向けの動きというのが一見停止しているように見えると思うが、霞ヶ関の方は、越年編成となっても、できる限り遅れないようにということで、相当程度準備は引き続き徹底して進めていると思う。情報収集にそれぞれ意識して取り組み、事務方ベースでかまわないので、しっかりと働きかけ、政策提言もしていただきたい。

12月14日に選挙が終わると、今度は与党プロセスが一举に動き出すので、その時にどういう形で働きかけていくのかということについても、事前によく考えておいてほしい。これから2～3週間は水面下で霞ヶ関がフル稼働すると思う。それが終わると、一

挙に与党プロセスが動くという形で物事が動いていくことになると思う。それぞれの段階で霞ヶ関に働きかける、それからその後の与党プロセスの段階で一挙に働きかけるという二段構えになると思うので、それを想定して情報収集、準備、政策提言をお願いしたい。

2点目として、これから予算の見積概要の打ち合わせをしていくことになる。今のステージの単なる継続延長ということではなくて、真に県勢浮揚につながるような新たなステージに踏み出していくという取り組みを大胆に考察して予算要求をしていただきたい。今うまく行ってるゆえに、その延長線上でとは考えないでもらいたい。今度は次のステージへ行くために、少し飛躍した形での政策展開をしていこうではないかとかいう形で考えていただきたい。実効性が発揮できる政策を展開できる素地がいろんなところで整ってきていると感じており、県民の皆さんといろいろと話をする中でもそういう感触を得ている。ぜひ形にしていきたいと思うので、よろしく願います。

そして、そういう仕事に向かうためにも、余力を確保していくためにもスクラップが大事だと思う。スクラップアンドビルドの徹底ということを予算編成方針の中でも示しているが、もう役割を終えた、発展的解消をしてもいいと思われるようなもの、残念ながらあまり効果が発揮できなかった、所期の効果を発揮できなかったと思われるようなもの、そういうものはしっかりとスクラップし、できるだけ新たなステージでより実効をもたらすような政策に集中をするということをお願いしたい。